

## 女性外科医師のキャリア継続に関する意識調査・職場環境に関する調査

### 1. 観察研究について

九州大学病院では、最適な治療を患者さんに提供するために、病気の特徴を研究し、診断法、治療法の改善に努めています。患者さんの生活習慣や検査結果、疾病への治療の効果などの情報を集め、これを詳しく調べて医療の改善につながる新たな知見を発見する研究を「観察研究」といいます。その一つとして、九州大学大学院医学研究院臨床・腫瘍外科学分野では、60名の女性外科医師と25名の関連施設外科部門責任者を対象として、キャリア継続に関する意識調査・職場環境に関する「観察研究」を行っています。

今回の研究の実施にあたっては、九州大学医系地区部局観察研究倫理審査委員会の審査を経て、研究機関の長より許可を受けています。この研究が許可されている期間は、2026年3月31日までです。

### 2. 研究の目的や意義について

30代～40代の女性医師の離職率は依然高く、ライフイベントを経験してからのキャリア継続が難しいことが問題となっております。近年では医師不足の解消が急務となっており、若手女性医師の離職問題は解決すべき重要な課題です。特に外科領域では女性医師自体が少なくキャリア継続の支援体制整備は発展途上にあります。また、長時間就労や時間外勤務が多いこと、熟練の外科医となるための修練には時間がかかることは女性医師がキャリア継続を断念する大きな要因となっており、外科独自の支援体制を検討しなければなりません。当医局でも新入局員の30%は女性医師であり、多くの女性医師が将来的にライフイベントを経験した後には外科医としてキャリア継続を望んでいます。当科では増えゆく女性外科医のキャリア継続を円滑に行うべく、効果的かつ効率的なキャリア継続支援体制を築いていかなければなりません。

本研究では当科に所属する女性外科医師を中心に、ライフイベントを通して自身のキャリア形成に関する意識を詳細に調査し、女性医師が外科医として就業継続しやすい労働条件や職場環境を明らかにすることを目的としています。さらに、当科の関連施設にも女性医師の就労支援に関する調査を行い、双方のデータを照らし合わせることで円滑な就労支援と職場環境改善につなげていくことができると考えています。また、本研究は女性医師のみならず、多様な人材が外科医としてキャリア継続するための「働き方」を考えていく上で非常に意義があり、職場環境の再構築への応用を期待しています。皆様方のご意見を元に、働き方改革を推進するための基礎データとしても重要な調査となると考えます。

### 3. 研究の対象者について

現在九州大学大学院医学研究院臨床・腫瘍外科学分野に所属する卒後20年未満の女性医師と今後入局する予定の女性医師を合わせて60人を対象とさせていただき予定。また、九州大学大学院医学研究院臨床・腫瘍外科学分野の関連施設である施設の外科部門代表者25人も対象とさせていただき予定です。

### 4. 研究の方法について

この研究への参加に同意いただきましたら、アンケート調査に回答していただきます。アンケート調査はオンライン・アンケートフォームあるいは紙媒体で、ご回答いただく形式です。回答いただきました情報は回収後に匿名化を行います。データ化した上で統計学的分析を行い、比較いたします。

紙媒体の調査票で回答戴く場合には、調査票を送付いたしますので記入戴いた調査票を同封の返信用封筒に封緘していただき、九州大学の研究責任者にご返送ください。

[取得する情報]

- ・基本項目：氏名、卒後年数、資格、婚姻・世帯状況、家庭環境
- ・キャリア継続への意識調査：ライフイベント後の復帰について、希望する勤務形態・時間帯、仕事内容、将来のキャリア形成について
- ・職場環境の情報：必要な職場環境整備、緊急時の対応について、調整可能な勤務形態、勤務時間、待遇の調査

あなたの調査票の回答を匿名化、データ化したのちに詳しい解析を行う予定です。

また、次年度以降も同じ内容のアンケート調査を実施します。今回参加頂いた方も同意頂ける場合はアンケート調査にご回答ください。経時的な変化についても調査・解析いたします。

## 5. 個人情報の取扱いについて

あなたのアンケート結果をこの研究に使用する際には、あなたのお名前の代わりに研究用の番号を付けて取り扱います。あなたと研究用の番号を結びつける対応表のファイルにはパスワードを設定し、九州大学大学院医学研究院 臨床・腫瘍外科分野内のインターネットに接続できないパソコンに保存します。このパソコンが設置されている部屋は、同分野の職員によって入室が管理されており、第三者が立ち入ることはできません。

また、この研究の成果を発表したり、それを元に特許等の申請をしたりする場合にも、あなたが特定できる情報を使用することはありません。

この研究によって取得した情報は、九州大学大学院医学研究院 臨床・腫瘍外科学分野・教授・中村雅史の責任の下、厳重な管理を行います。

ご本人等からの求めに応じて、保有する個人情報を開示します。情報の開示を希望される方は、ご連絡ください。

## 6. 試料や情報の保管等について

この研究において得られたあなたのアンケート回答データ（あるいは原票）は原則としてこの研究のために使用し、研究終了後は、九州大学大学院医学研究院臨床・腫瘍外科学分野において同分野教授・中村雅史の責任の下、10年間保存した後、研究用の番号等を消去し、廃棄します。

また、この研究で得られたあなたのアンケート回答の情報は、将来計画・実施される別の医学研究にとっても大変貴重なものとなる可能性があります。そこで、あなたの同意がいただけるならば、前述の期間を超えて保管し、将来新たに計画・実施される医学研究にも使用させていただきたいと考えております。その研究を行う場合には、改めてその研究計画を倫理審査委員会において審査し、承認された後に行います。

## 7. 利益相反について

九州大学では、よりよい医療を社会に提供するために積極的に臨床研究を推進しています。そのための資金は公的資金以外に、企業や財団からの寄付や契約でまかなわれることもあります。医学研究の発展のために企業等との連携は必要不可欠なものとなっており、国や大学も健全な産学連携を推奨しています。

一方で、産学連携を進めた場合、患者さんの利益と研究者や企業等の利益が相反（利益相反）してい

るのではないかという疑問が生じる事があります。そのような問題に対して九州大学では「九州大学利益相反マネジメント要項」及び「医系地区部局における臨床研究に係る利益相反マネジメント要項」を定めています。本研究はこれらの要項に基づいて実施されます。

本研究に関する必要な経費は寄付金ですが、研究遂行にあたって特別な利益相反状態にはありません。利益相反についてもっと詳しくお知りになりたい方は、下記の窓口へお問い合わせください。利益相反についてもっと詳しくお知りになりたい方は、下記の窓口へお問い合わせください。

利益相反マネジメント委員会

(窓口：九州大学病院 ARO 次世代医療センター 電話：092-642-5082)

## 8. 研究に関する情報公開の方法について

この研究に参加して下さった方々の個人情報の保護や、この研究の独創性の確保に支障がない範囲で、この研究の研究計画書や研究の方法に関する資料をご覧いただくことができます。資料の閲覧を希望される方は、ご連絡ください。

## 9. 研究の実施体制について

この研究は以下の体制で実施します。

研究実施場所	九州大学病院消化管外科 (I) 九州大学大学院医学研究院臨床・腫瘍外科学分野
研究責任者	九州大学大学院医学研究院臨床・腫瘍外科学分野 教授 中村雅史
研究分担者	九州大学病院消化管外科 (I)・助教 進藤幸治 九州大学病院消化管外科 (I)・助教・永吉絹子

## 10. 相談窓口について

この研究に関してご質問や相談等ある場合は、下記担当者までご連絡ください。

事務局 (相談窓口)	担当者：九州大学病院消化管外科 (I)・助教・永吉絹子 連絡先：〔TEL〕 092-642-5441 (内線 2896) 〔FAX〕 092-642-5459 メールアドレス：nagayoshi.kinuko.232@m.kyushu-u.ac.jp
---------------	--